

間違えやすい

有害ごみ・不燃ごみの出し方について



有害ごみは出し方を間違えると、爆発・火災(リチウムイオン電池、スプレー缶、ガスボンベなど)や、環境汚染・健康被害(水銀を含んでいる電池・体温計、蛍光灯など)につながります。

有害ごみと不燃ごみは処理方法が異なります。

分別の徹底をお願いします。

●電池・バッテリー



リチウム一次電池とは、充電ができないリチウム電池=有害ごみ
充電可能なリチウム電池はリサイクルボックスへ!!

○マンガン電池、アルカリ電池、ボタン型電池、リチウム一次電池

→ **有害ごみ**

○携帯電話のバッテリー・リチウム電池

(携帯電話のバッテリーは、市では回収できません)

リサイクル協力店(家電量販店、携帯キャリア店舗等)のリサイクルボックスへ

○大型のバッテリー

販売店、または取り扱い店舗にご相談ください。
(市の施設で受入れを行っていません)



●体温計



○水銀入り体温計

→ **有害ごみ**

○デジタル体温計(水銀なし)

→ **小型家電** (電池は外してください)

●電灯



○蛍光管(丸型、直管型、電球型)

→ **有害ごみ**

○LED、白熱電球、点灯管(グロー球)

→ **不燃ごみ**

●スプレー缶、カセットボンベ



○スプレー缶、カセットボンベ

→ **空き缶**

○塗料のスプレー缶

→ **不燃ごみ**

整髪剤、制汗剤、殺虫剤等の**塗料**以外のスプレー缶

塗料のスプレー缶は分別が異なります。

※全てのスプレー缶は、必ず中身を使い切ってから、ガスを抜き、穴を開けて出してください。ガス抜きや穴を開ける作業は、火の気のない風通しの良い屋外で行ってください。